

# ワンダー！

令和元年11月7日（木）

## 5-1フリマに挑戦！！

### 5-1 お楽しみ会を開きたい

事の始まりは、レク係さんが言った一言「先生、みんなでハロウィンやりたい」でした。

「レクの時間を使って、みんなが楽しめるようにやるならいいよ」と言ったところ、みんなで楽しめるレクを考えてハロウィンの日に遊ぼうということになりました。やりたいことを出し合っていると、室内レクやおやつ作り、ビンゴゲームなどたくさんのアイデアが出されました。「どれもおもしろそうだからやりたいんだけど…」の声が上がり、10月のハロウィン・レクと12月のクリスマス会の2回を「5-1のお楽しみ会」として行うことにしました。10月のハロウィンレクは、教室の中でできるレクリエーションをして楽しみました。全員が納得できる遊びを決めだしたり、グループを作ったりするには時間がかかりましたが、当日はみんな笑顔で楽しむことができました。



ハロウィンレクで「NGワードゲーム」を楽しんでいる様子

さて、次の12月のお楽しみ会では、（ビンゴゲームやプレゼント交換、できればおやつ作りもしたい）という気持ちの子どもたち。「先生、おやつとかビンゴとかお金がかかってもいい？」の問いに、「会費集めるとか学年費から出すこともできるけど、何か工夫がほしいなあ」とつぶやくと…

### 自分たちで使うお金だから自分たちで何とかできないか？

「みんなで読まなくなった本を古本屋さんに売ってお金にしたら？」「だったら、家にある使える物を持ち寄ってフリーマーケットみたいなことをするのもいいんじゃない？」自分たちで使うお金だから、自分たちで何とかできないか…そう考えた子がいました。（もし、そういうことができたならおもしろいだろうな）そんなことを思いながら、その子たちの話を聞いていました。「みんなはどう思うのかな？」クラスみんなに投げかけると「おもしろそう」「やってみたい」の声が上がりました。「5-1フリーマーケットをしてみたい」という思いが子どもたちの間に立ち上がり始めました。

### 自分たちのお楽しみのためにするフリマでいいのかな？

「先生、もしフリーマーケットができるなら、11月に参観日があるでしょ。お家の人たちが来るから、そこでやれないかな？」具体的な日にちまで考え始める子がいました。（すごい、本気でやってみたって考えているんだ）と思わず感心しました。同時に（でも、本当にできるのかな？やってみていいのかな？）という気持ちも担任の心に残りました。

この段階で、学校の許可やお家の方の理解は取り付けていないし、具体的にどんな段取りで進めていくのかはノープランのまま…さらに、自分たちのお楽しみ会の費用をフリマで稼ごうということが、自分たちの都合に合わせて手軽にお金を稼ぐ方法を探していることになりはしないか…などなど、担任の中に不安な気持ちがあったのです。校長先生や教頭先生に相談する中で「子どもたちの中から生まれた気持ちだから大切にしたい」「自分たちのために小遣いを稼ぐ感覚ではなく（それが悪いというわけではないが）、活動を通して何を学んでいけるかを考えることができればいいな」というアドバイスを頂きました。その通りだなと思い、子どもたちにも担任の不安をそのまま伝え、みん

なはどう考えるかを聞いてみる必要があるのではないかと思います。

## それでも、フリマをやってみたい！

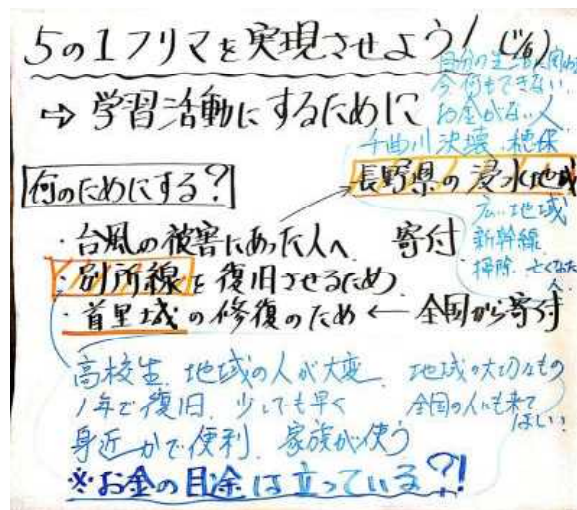
子どもたちに話しをしようと思っていたとき、JAからもち米の精米ができたという連絡が入りました。収穫祭と全校の給食につかっても、まだあまりがあるぐらいの収量だとのことでした。この話を聞いて、自分たちで働いて収穫したもち米なら、販売して自分たちのクラスのための活動費に充てるのも悪くないのではないかと。お楽しみ会の費用は、もち米の販売でまかなってはどうか？

担任の話を子どもたちは真剣に聞いていました。「確かに、フリマで自分たちだけお金を稼いで楽しいことをするって、するっていうか」「お米だったら自分たちで作ったものだから、お楽しみ会に使ってもいいかも」子どもたちの中にも、担任が感じていたのと同じような気持ちがあることを知り、なんだかホッとしました。そのとき「でも、正直言えばフリマをやってみたかった」という声が上がりました。「正直言えば」という言葉に何か思いが込められているように感じ、「みんなは、お楽しみ会のお金にならなくても、フリーマーケットはやってみたいって思うの？」と聞いてみました。「学習としてやりたい」すごい言葉が飛び出しました。そして、全員が「やってみたいと思う」と手を挙げました。

## 台風19号で被害に遭った人たちのこと

「本当に、この活動がみんなにとっての学習になったらすごいことだ。ねえ、じゃあ、このフリマは何のためにやるってことになるの？お金を稼いでどうするの？」そう問いかけて、考える時間を取りました。子どもたちの間で、自然といろいろな声飛び交いました。「台風19号で被害に遭った人たちがいるから、その人たちの役に立てたらいいと思う」「別所線の復旧のために寄付したらいいと思う」「首里城が火災で焼けちゃったから、再建のために寄付したらいいと思う」という意見が出されました。その中でも、「長野県北部で浸水被害に遭った人たちのために」という意見と「別所線の復旧のために」という意見が、大きな意見としてあげられました。

- S 1 千曲川が決壊して、広い地域で水浸しになって、家とか電化製品とか壊れて困っている人たちがいるから、その人たちのためにつかたらいい。
- S 2 高校生や地域の人が別所線を使っていて、それが今までの通りには使えなくて、バスも時間が変わっちゃうから困っているから、別所線の復旧に使いたい。
- S 3 私も、身近で便利に使っていたし、家族も使っている別所線に。
- S 4 別所線は地域の大切な宝だし、全国にもファンがいるから、早く元に戻って全国の人にも来てほしい。
- S 5 別所線は1年で復旧っていうけど、少しでも早く直してほしい。
- S 6 千曲川が決壊で、穂保地区とかその周りの人たちは、本当に困っていて今何もできないでいるから、お金があれば生活できると思う。
- S 7 浸水して掃除をしたり、学校も自分の学校に行けなかったり、亡くなった人もいます…浸水地域の人たちの方が大変かなって思う。
- S 8 別所線は1年で復旧ってニュースで言ってたから、お金は目途がついているってことじゃないの？
- S 9 えっ、そうなの？だったら、話は変わってくるかも。
- S 10 先生、どうなの。分かる？  
(担任、上田交通に電話をして確かめる)



T 1 今、電車の代わりにバスを運行させているんだけど、そのために使うお金については何とかなっているんだけど、壊れた橋を直して元に戻すことについては、今のところいくらかかるか分かっていないそうです。

S 1 1 でも、1年で直るんでしょ？

T 2 それも、「1年で直したい」という目標はあるけど、実際は分からないようです。

S 1 2 だったら、やっぱり別所線の復旧に…

この話し合いを経て、多くの子が、別所線は身近にある大切な施設であると同時に地域の宝と考え、自分たちの力で少しでも役に立ちたいと考えたことが伝わりました。普段、何気なく見たりかかわったりしていたものが、自分たちにとってどれだけ大切なものであるのかを改めて感じられた場面にも思いました。そこで、今回は別所線復旧のために売り上げを寄付しようということにしました。

県北部の浸水被害に遭った人たちのためにと考えていた子たちは、その結果に同意はしてくれましたがなんとなく浮かぬ顔をしてました。どうしてかなと思い、何人かの話を聞くと「お母さんが実際ボランティアに行ってきたんだけど、すごく大変な様子が伝わってきて…」「私もお母さんと話をしたとき、家が水浸しになっても床下浸水だとお金がもらえないって聞いて、それは大変」と、浸水の被害の深刻さを自分事として捉えようとしていることが伝わってきました。そう思うと、長野県北部の浸水被害のためにと主張していた別の子たちも、「実際に災害が起きた場所の近くに住んでいたことがある子」だったり、「家の用事で災害直後の長野市に行った経験のある子」だったりしたことに気がきました。子どもたちは、その子の経験や環境に応じて、大切にしたいと思える事柄や見えている風景が違うのだということをお伝えされました。

## 5-1フリマを開こう！！

以上の話し合いの経緯から、今回は「別所線復旧のためにフリーマーケットを開こう！」を実行したいと考えています。当初の「お楽しみ会のため」とは目的が変わりましたが、子どもたちはそのことを意味のあることとして受け止めてくれたと思います。お家の皆さんにお話ししないままここまできたので、ご心配やご迷惑をおかけしていたかもしれません。すみませんでした。

改めて、以下の通り「5-1フリマ」を計画しますので、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 目的 別所線復旧のための寄付金を集めるためにフリーマーケットを行う。  
フリーマーケットの活動を通して、物を大切にすること・お金を大切にすること  
・人とのコミュニケーションを大切にすることを体験的に学ぶ。
- 2 日時 令和1年11月16日(土) 土曜参観日  
11:30(当日下校時刻)～12:30(片付け含む)
- 3 場所 高学年玄関前・体育館入り口付近
- 4 対象 参観日当日来校頂いてい保護者の皆様を中心に  
(事前にチラシを作成し、各学級で配布をお願いします)
- 5 品物について 各家庭より児童が主体的に判断しながら品物を決める。  
品物数は限定しないが各自1点以上、負担のない範囲で持ち寄る。  
持ち寄り品は「本、CD、DVD、おもちゃ、文具、日用品、衣服など」。  
衛生管理上食品は扱わない。  
品物の持ち込みを11日(月曜日)にします。

以上、ご協力をお願いします。